

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成26年11月6日(2014.11.6)

【公開番号】特開2014-164094(P2014-164094A)

【公開日】平成26年9月8日(2014.9.8)

【年通号数】公開・登録公報2014-048

【出願番号】特願2013-34586(P2013-34586)

【国際特許分類】

G 0 2 B 5/08 (2006.01)

F 2 1 V 7/00 (2006.01)

F 2 1 V 7/22 (2006.01)

B 3 2 B 27/00 (2006.01)

【F I】

G 0 2 B 5/08 A

F 2 1 V 7/00 5 3 0

F 2 1 V 7/22 1 0 0

B 3 2 B 27/00 N

【手続補正書】

【提出日】平成26年9月24日(2014.9.24)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

反射層 A と、熱可塑性樹脂からなり粒子を含有する表面層 B とを有する白色反射フィルムであって、

表面層 B の反射層 A とは反対側の表面に上記粒子により形成された突起を有し、  
該表面における高さ  $5\ \mu\text{m}$  以上の突起個数が  $10^4 \sim 10^{10}$  個 /  $\text{m}^2$  であり、  
上記粒子の 10% 圧縮強度が  $0.1 \sim 5\ \text{MPa}$  であり、  
上記突起のビッカース硬度が  $5 \sim 30$  である、白色反射フィルム。

【請求項 2】

反射層 A のボイド体積率が 15 体積% 以上、70 体積% 以下であり、表面層 B のボイド体積率が 0 体積% 以上、15 体積% 未満である、請求項 1 または 2 に記載の白色反射フィルム。

【請求項 3】

導光板を備える面光源反射板として用いられる、請求項 1 または 2 に記載の白色反射フィルム。

【請求項 4】

エッジライト方式バックライトユニット用反射板として用いられる、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の白色反射フィルム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、上記課題を達成するために、以下の構成を採用するものである。

1．反射層 A と、熱可塑性樹脂からなり粒子を含有する表面層 B とを有する白色反射フィルムであって、

表面層 B の反射層 A とは反対側の表面に上記粒子により形成された突起を有し、  
該表面における高さ  $5\text{ }\mu\text{m}$  以上の突起個数が  $10^4 \sim 10^{10}$  個 /  $\text{m}^2$  であり、  
上記粒子の 10 % 圧縮強度が  $0.1 \sim 5\text{ MPa}$  であり、  
上記突起のビッカース硬度が  $5 \sim 30$  である、白色反射フィルム。

2．反射層 A のボイド体積率が 15 体積 % 以上、70 体積 % 以下であり、表面層 B のボイド体積率が 0 体積 % 以上、15 体積 % 未満である、上記 1 または 2 に記載の白色反射フィルム。

3．導光板を備える面光源反射板として用いられる、上記 1 または 2 に記載の白色反射フィルム。

4．エッジライト方式バックライトユニット用反射板として用いられる、上記 1 ~ 3 のいずれか 1 に記載の白色反射フィルム。